

他機関と連携して取り組んだ主な助け愛隊活動

①生活支援コーディネーター⇒CSW⇒行政と連携して対応

(相談) 自宅外周の雑草を抜くのを手伝って欲しい。

- ・地区担当 CSW と事前調査で訪問し、雑草が生えている場所等を確認。
- ・雑草が生えている場所に吹田市との境界標を確認。(写真右) 個人の敷地か行政の管理場所なのか不明だったため地区担当 CSW に確認を依頼。
- ・地区担当 CSW が吹田市に上記内容を確認。その後の高齢者と吹田市との調整等は地区担当 CSW が支援を行う。



②生活支援コーディネーター⇒CSW⇒引きこもり支援団体と連携して対応

(相談) 大型ゴミの搬出を手伝って欲しい。

- ・生活支援コーディネーターが事前調査で訪問し大型ゴミ(長さ 2m×幅 30cm 程の木製の外壁板)を多数確認。
- ・大型ゴミで出すにもある程度の大きさに切断が必要。
- ・地区担当 CSW に相談し、引きこもり支援団体と連携して切断作業・搬出作業を実施。

③生活支援コーディネーター⇒CSW⇒自治会と連携して対応

(相談) 電球交換をして欲しい。

- ・生活支援コーディネーターが、相談者が居住している団地自治会で独自に生活支援活動に取り組んでいることを把握していたため、地区担当 CSW に連携を依頼。
- ・地区担当 CSW から自治会長に相談すると、すぐに訪問し作業完了。

④生活支援コーディネーター⇒CSW⇒福祉委員会と連携して対応

(相談) タンスを処分して欲しい。

- ・地区福祉委員長会議で高齢者生活支援体制整備事業の取り組みを報告した際に「地域の高齢者の困り事は福祉委員会に相談して欲しい」という地区があった。
- ・高齢者が該地区在住者であったため、地区担当 CSW より同地区福祉委員会に相談。
- ・地区福祉委員会で「地域の困りごと」と捉えて対応。